

大雨(河川氾濫・土砂災害)

大雨① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

ア 自宅の位置を確認しましょう

見えにくい場合は「御殿場市防災マップ」、もしくは国土交通省の「重ねるハザードマップ」で確認しよう。



川が氾濫した場合に浸水するおそれがある区域及び土砂災害計画区域・特別警戒区域

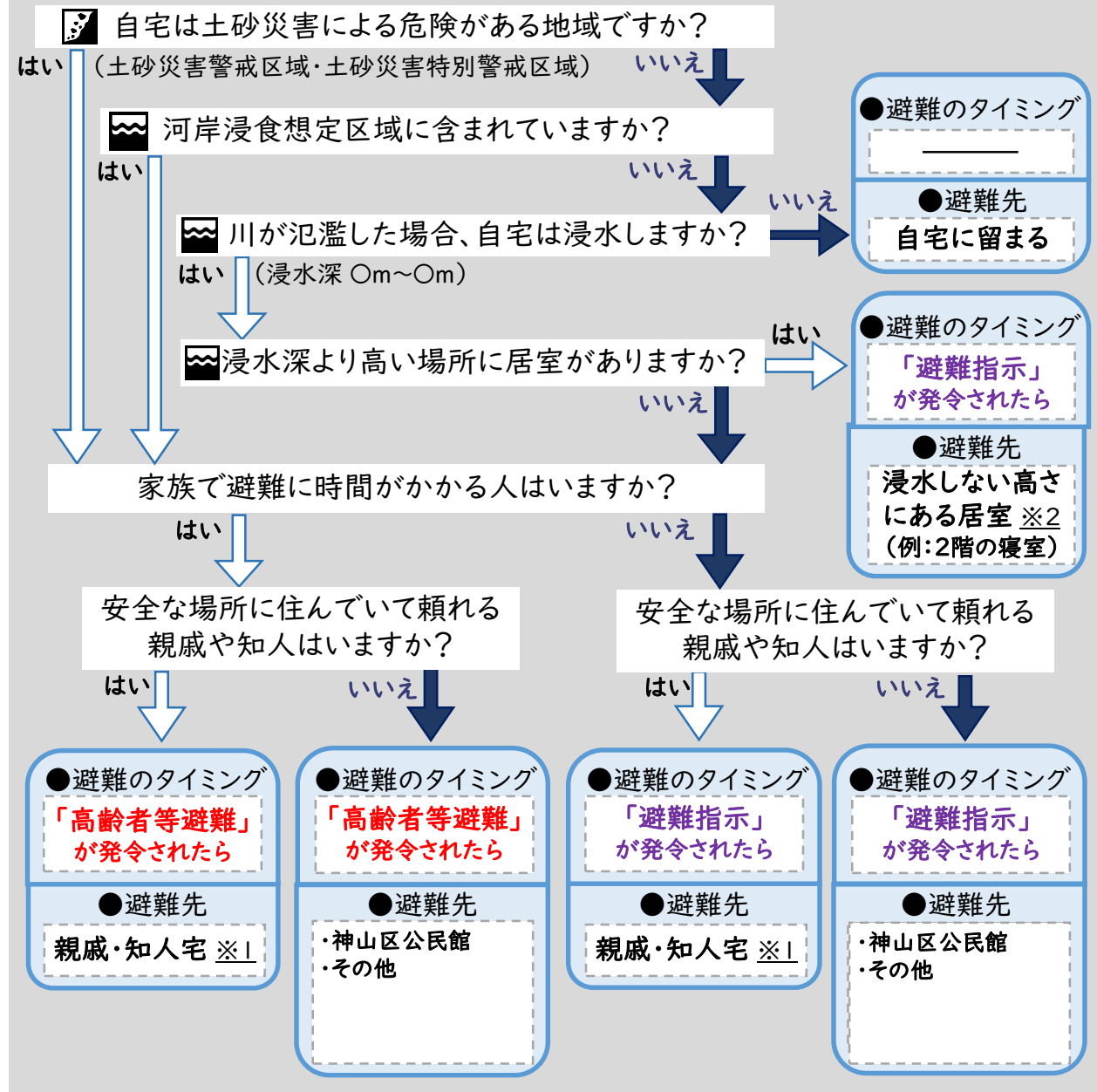
※出典: 御殿場市洪水ハザードマップ

イ 下記の災害リスクを確認し、「わたしの避難計画」に記入しましょう

河川氾濫による危険		土砂災害による危険	
○浸水想定区域(浸水深)		○土砂災害特別警戒区域	
浸水が10.0~20.0mの区域		土砂災害が発生した場合、建物の破壊が生じ、住民等の生命や身体に著しい危害が生じるおそれのある地域	
浸水が5.0~10.0mの区域			
浸水が3.0~5.0mの区域			
浸水が1.0~3.0mの区域			
浸水が0.5~1.0mの区域			
浸水が0.3~0.5mの区域			
浸水が0.3m未満の区域			
河岸侵食 (洪水の流れにより河岸が削り取られるおそれがある区域)		○土砂災害警戒区域	
水位周知河川*を含む区間		土砂災害のおそれのある地域	
		●土砂災害特別警戒区域	
		●土砂災害警戒区域	

大雨② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入

ア 避難のタイミング・避難先を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう



※1 親戚・知人宅へは、可能であれば事前に避難するようにしましょう。
 ※2 水が引くまでの間の「飲み水・食料」や「簡易トイレ」などを準備しておこう。

イ 情報収集手段を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう

避難情報や同報無線の放送、避難所の開設状況

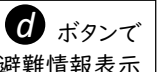
- ・御殿場市公式LINE
- ・御殿場市ほっとメール

避難情報や気象警報等

- ・静岡県防災アプリ
- ・その他アプリ

避難情報やニュース

- ・テレビ
- ・ラジオ

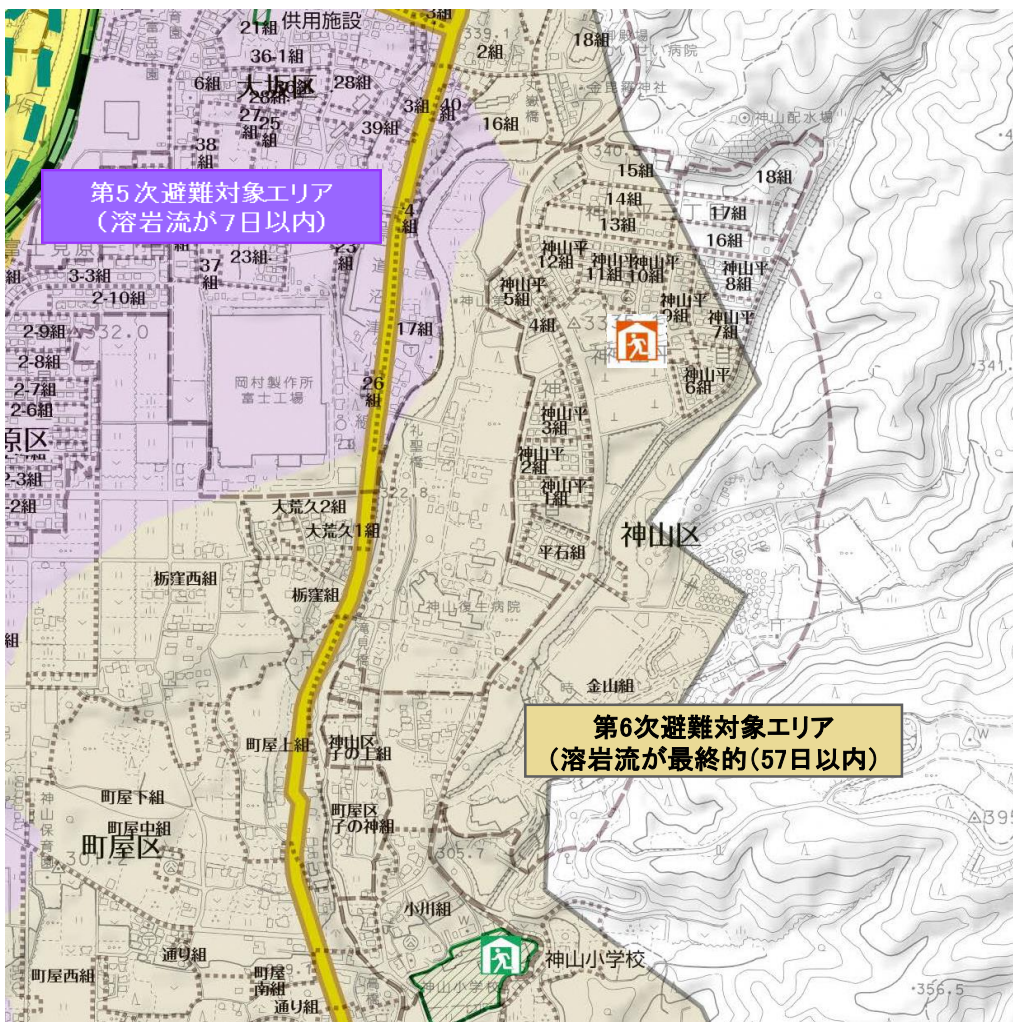


※市の公式LINEやほっとメール、県防災アプリについて、8ページに2次元コードを掲載しています。

溶岩流① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

ア 自宅の位置を確認しましょう

見えにくい場合は「御殿場市富士山溶岩流可能性マップ」及び「御殿場市富士山溶岩流ドリルマップ」で確認しよう。



※出典：御殿場市富士山溶岩流可能性マップ



避難対象エリア
第1次避難対象エリア (想定火口範囲)
第2次避難対象エリア (火砕流、大きな噴石)
第3次避難対象エリア (溶岩流が3時間以内)
第4次避難対象エリア (溶岩流が24時間以内)
第5次避難対象エリア (溶岩流が7日以内)
第6次避難対象エリア (溶岩流が最終的57日以内)

凡 例	
区(班) 界	界
組 界	界
市指定広域避難地	
市指定広域避難所	
救護病院	
雨量観測所	
市役所・支所	
交番・駐在所	
消防署・分署	

※注意：データ容量が大きいので、スマートフォンやタブレットを使ってダウンロードされる場合は、wi-fi環境でのご利用を推奨します。

御殿場市 富士山溶岩流可能性マップ

御殿場市 富士山溶岩流ドリルマップ (大規模L)

(中規模M No1)

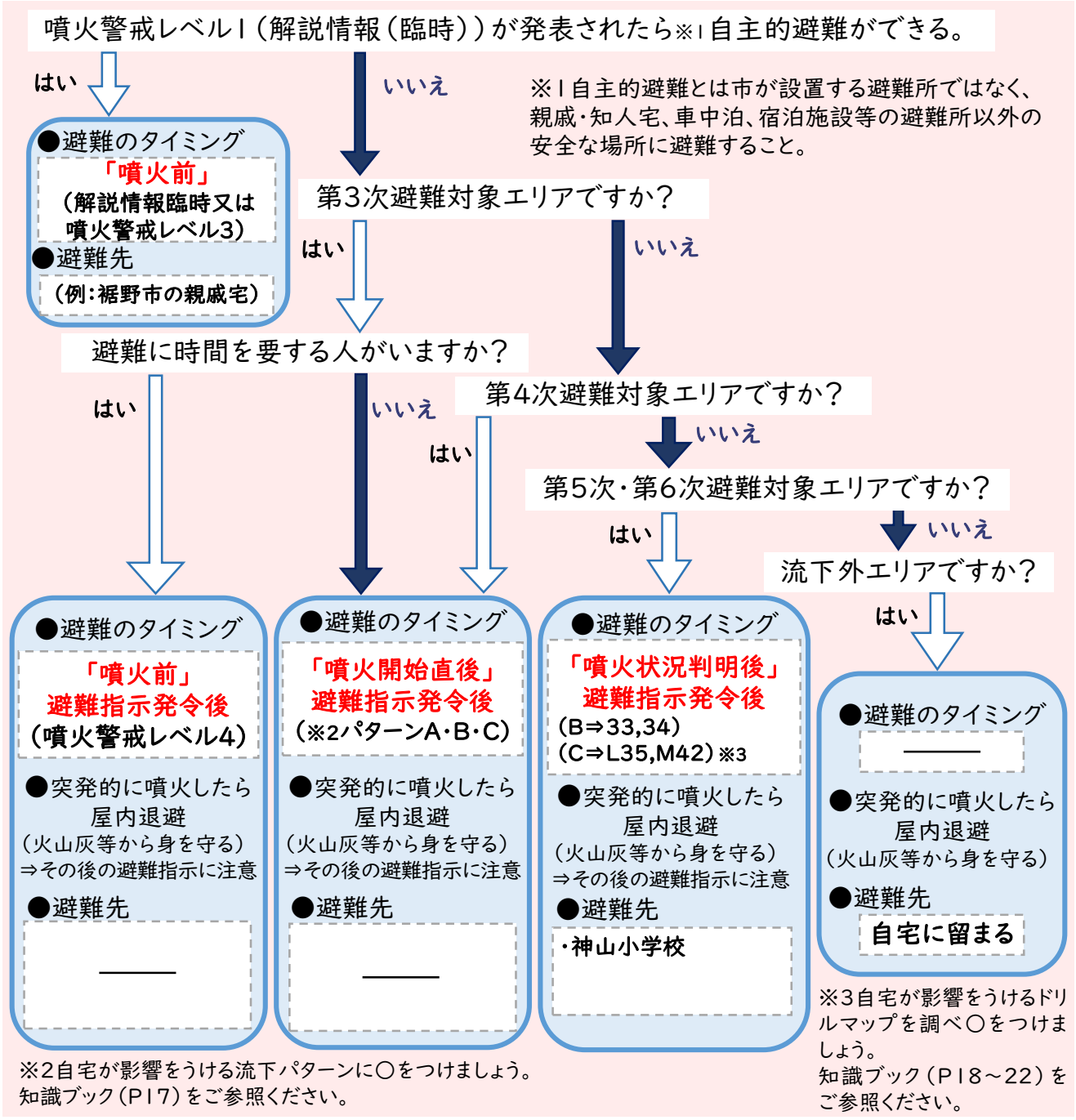
(中規模M No2)

(小規模)

知識ブック

溶岩流② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入

ア 避難のタイミング・避難先を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう



イ 情報収集手段を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう

避難情報や同報無線の放送、避難所の開設状況

避難情報や噴火警報等

避難情報やニュース

- 御殿場市公式LINE
- 御殿場市ほっとメール
- 静岡県防災アプリ
- その他アプリ
- テレビ
- ラジオ
- ボタンで避難情報表示

※市の公式LINEやほっとメール、県防災アプリについて、8ページに二次元コードを掲載しています。

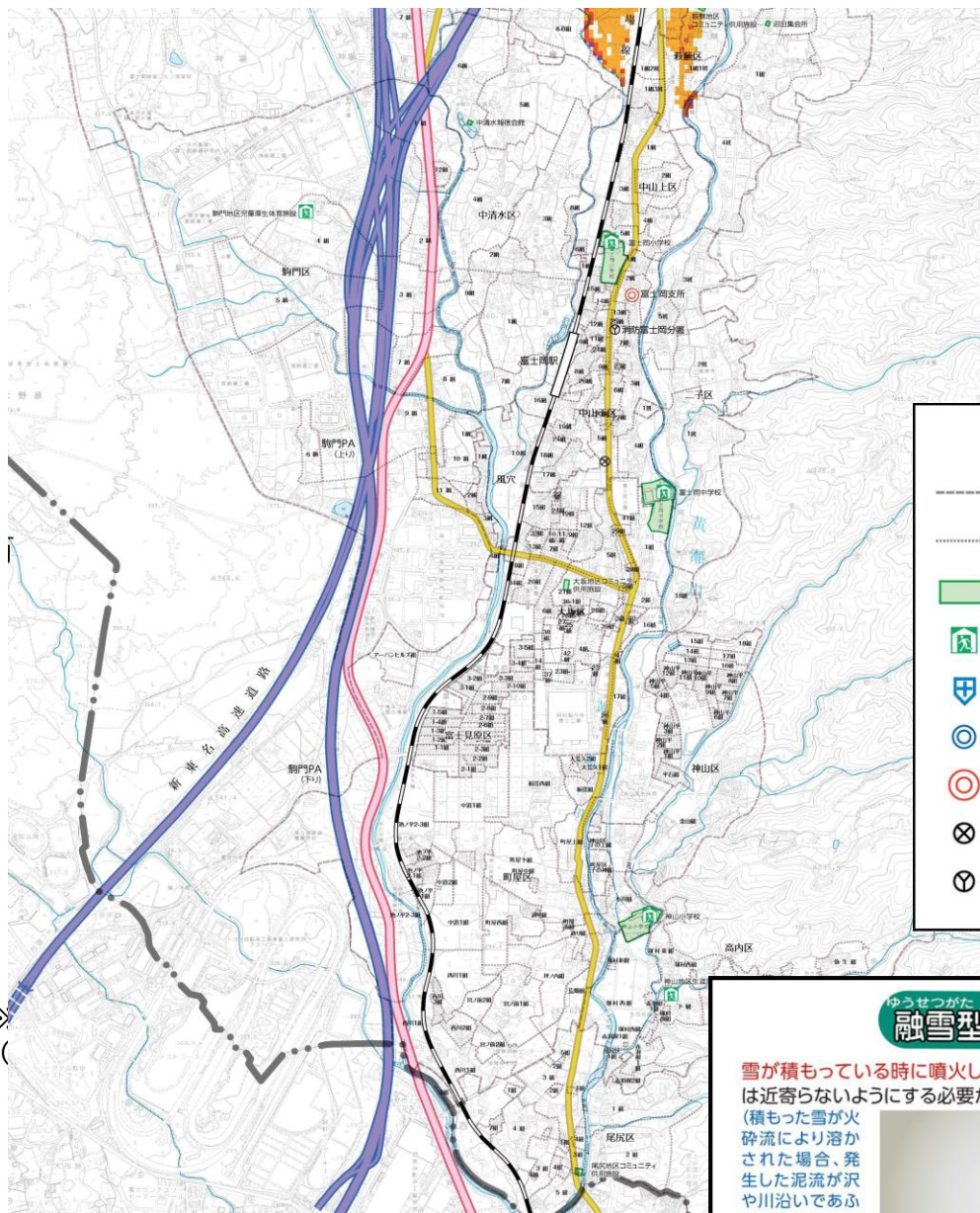


火山 融雪型火山泥流

融雪型火山泥流① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

ア 自宅の位置を確認しましょう

見えにくい場合は「御殿場市富士山融雪型火山泥流ドリルマップ」で確認しよう。



御殿場市富士山融雪型火山泥流ドリルマップ(危険度区分)



凡 例	
-----	区(班) 界
-----	組 界
■	市指定広域避難地
■	市指定広域避難所
■	救 護 病 院
○	雨 量 観 測 所
○	市 役 所 ・ 支 所
⊗	交 番 ・ 駐 在 所
⊗	消 防 署 ・ 分 署

融雪型火山泥流

雪が積もっている時に噴火しそうになった場合に、沢や川には近寄らないようにする必要があります。積もった雪が火砕流により溶かされた場合、発生した泥流が沢や川沿いであふれるおそれのある範囲を示しています。



雪が積もっている季節に噴火が始まると、火砕流などの高温の岩で雪が解けて、斜面の土砂を取り込んで高速で流れ下ります。おもに谷底など低いところを流れますが、あふれて広がることもあります。山頂付近から一気に流れるので早めの避難が必要です。

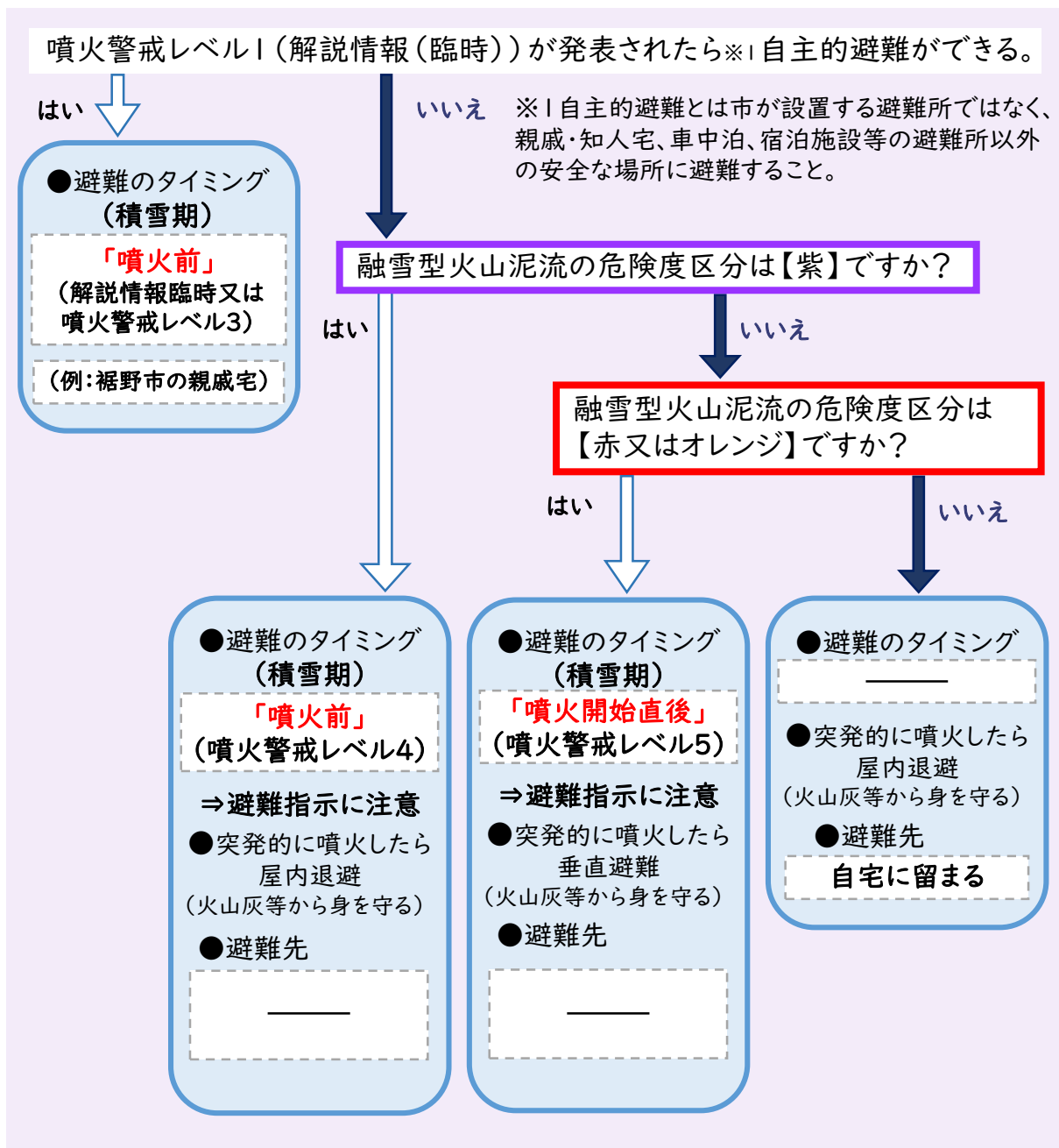
危険度区分

■	十分な注意を払った上で、徒歩による避難が可能な条件の区域
■	事前の避難または建物内での垂直避難が必要な区域
■	事前の避難が必要な区域

イ 上記、融雪型火山泥流の災害リスクを確認し、「わたしの避難計画」に記入しよう

融雪型火山泥流② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入

ア 避難のタイミング・避難先を決め、「わたしの避難計画」に記入しよう



イ 情報収集手段を決め、「わたしの避難計画」に記入しよう

避難情報や同報無線の放送、避難所の開設状況

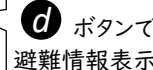
- ・御殿場市公式LINE
- ・御殿場市ほっとメール

避難情報や噴火警報等

- ・静岡県防災アプリ
- ・その他アプリ

避難情報やニュース

- ・テレビ
- ・ラジオ



※市の公式LINEやほっとメール、県防災アプリについて、8ページに2次元コードを掲載しています。